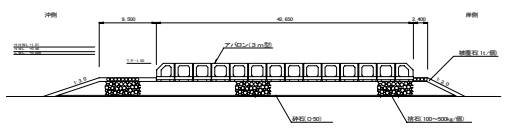
「公共工事コスト縮減対策に関する新行動指針」
【 施策名：（2）工事の時間的コストの低減　Ⅱ工事の時間的コストの削減】

新たな人エリーフ活用（暫定断面）によるコスト縮減

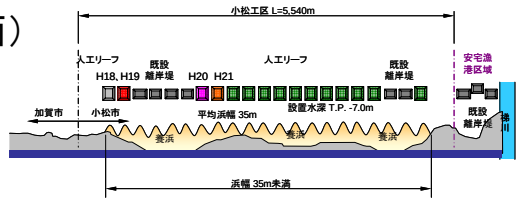
工事名：H18小松人エリーフ（その５）工事
概　要：石川海岸小松工区では、沖合施設が未整備なため、毎年災害が発生していることから、沖合施設の早期発現効果（被災軽減効果）を踏まえ、暫定断面（完成形の半断面化）により、整備延伸を早期に図るものである。【段階的な整備手法によるコスト縮減】

効　果：① 沖合無施設区間を早期に整備することにより、被災軽減効果を図る。
② 人エリーフ1基完成分の費用で、2基分（完成形の半断面化）の整備が可能（沖合施設未整備箇所の早期解消）→ 砂浜安定化が図れれば、暫定断面で事業完了【段階施工】
■ 人エリーフ（1基分）工事費を、２７１百万円から１６５百万円に縮減。
（縮減額　１０６百万円、縮減率　約３９％）

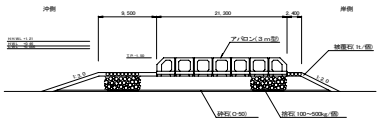
断面図（完成）



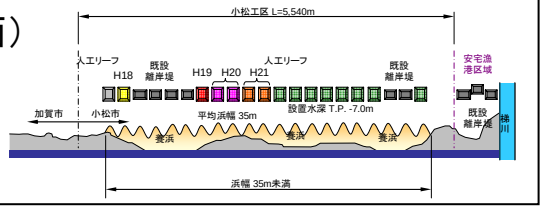
進捗度（完成断面）



断面図（暫定）



進捗度（暫定断面）



国土交通省　北陸地方整備局　金沢河川国道事務所